

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 県民公開講座 センター研修【第4回】

8月22日(火)13:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者39名(オンライン含む)

1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上とネットワーク形成を図ることを目的に、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得のための研修を行う。

2 内容

【講義】「学ぶって楽しい」

講師 Mr. マサックこと

工藤 貴正 (くどう たかまさ) 氏



3 講義要旨

- 「学ぶ」ということは楽しいこと、おもしろいことだということを私の講義と実験・実習で感じてほしいと思います。
- 「学ぶ」時に「なぜだろう」と不思議に思い、自分で考えることが大切です。その時に学びが生まれるのです。
- 失敗から学ぶことが大切です。99%の失敗の上に成功があるのです。
- 相手に楽しく学んでもらうためには、難しいことを難しく言うのではなく、簡単に伝えることが楽しい学びに発展していくのです。そうすると、人は学びを始めるのです。

4 受講者の感想から

- ・ 2時間が本当にあつという間に感じました。理由は、思考が止まることが全く無かったからだと思っています。これが楽しく学んでいる状態だと改めて感じました。難しいことを簡単に伝える工夫に満ちた講義・演習でした。
- ・ 「学ぶ」ということがどういうことなのか、演習等を交えて、身をもって理解できました。「難しいことを簡単に伝える」ところは特に大切にしたいと思いました。
- ・ 学校の授業だけでなく、何で?を考える楽しさ・おもしろさを実感でき、楽しく研修できました。今回、感じたことをどう社会教育の世界に生かしていくか考えたいと思います。
- ・ Mr. マサックさんが実演してくださったもので、私は1つも自力で解くことができませんでした。しかし、種明かしをされると、考えれば分かることが多く、自分の視野がせまいと感じました。これからは、今まで目を向けてこなかったことにも目を向けていきたいと思いました。

本研修第4回目は、県民公開講座として開催しました。Mr. マサック氏から「学ぶって楽しい」をテーマに、学ぶことの楽しさや大切さを実験や実習を通して、実感することができました。

今回は、高校生から高齢者の方まで幅広い層の受講者に参加いただき、その様子から年齢に関係なく楽しめる講座となりました。

